

「春爛漫」お花見食事会



八分咲きの桜の木の下で記念撮影

三月二十七日のお昼に「お花見食事会」が開催されました。会場は、会社より徒歩五分のところにある農村公園グリーンパーク片山で、桜は満開直前の八分咲き程度でした。
食事は池田町のスーパーで購入した「パック寿司」と「あん付きだんご」でした。昨日の雨が上がり、風もなく、よく晴れ上がった穏やかな天気の下、雑談をしながら美味しくお寿司をいただきました。



笑顔でお寿司を食べる

鍵山秀三郎さんに学ぶ

サービスの見直し

価格よりも、より質の高いサービスを求めてもらえるお客様も必ずいらっしゃいます。

『一日一話』鍵山秀三郎著より



置くだけムカデんジャー



ゴキブリ追放宣言

タニサケ親孝行物語 -2026-

タニサケでは、4月を「親孝行月間」と定め、社員の皆さんに親孝行の実践をお願いしています。

社員の皆さんの親孝行を紹介します。



今回の親孝行手当は父親と甥っ子、妻を連れて全員の共通の趣味である阪神タイガースを応援するためのチケット購入に使わせていただきました。

年を追うごとにチケット争奪戦は過熱しており、一年分のチケットがすぐに売り切れてしまう状況ですが、妻が頑張ってくれてボックス席を取ることができました。特典として試合終了後に甲子園のグラウンドに降りて記念撮影することができました。試合に勝って満面の笑みで記念撮影したいです。



両親を連れて外食に行きました。今年は一歳の息子もたくさん食べられるようになってきたので、両親は孫と一緒に食べられることがとても嬉しかったです。会話をしながら孫がたくさん食べている様子を見て、常に笑顔で癒される空間の中、みんなで楽しくご飯を食べることができました。息子もおじいちゃん、おばあちゃんと一緒にご飯を食べられてとても嬉しそうでした。



いただいた手当で、全国各地のブランド米を食べ比べできるセットを両親に贈りました。毎日の食卓に楽しみが増えたと喜ばれ、実用的な親孝行ができました。

こうした機会をいただける環境に感謝し、支えてくれる家族のためにも、より一層気を引き締めて職務に励みます。



実家の母と一緒にうなぎを食べに行きました。昨年は病気で入院、手術をした母ですが、美味しくご飯が食べられるまでに回復しました。親孝行手当のお陰で再び母の喜ぶ姿が見られて本当によかったです。



毎年恒例になっていますが、義父の仏前に生前好んでいた「谷汲山のうしろう」をお供えしました。義母には「みとかのイチゴ」を。娘二人と一緒に女子会ティータイムで楽しく話に花が咲きました。ありがとうございます。



毎年、親孝行手当は父の希望を叶えるという形で使わせていただいています。昨年は建設業だった父が手掛けた建物や動物園を巡り、母の希望で美味しい食事を楽しみました。

その時、父が「来年は故郷の川根へSLに乗って行きながら、車内でお弁当を食べたいね」と話し、すぐに計画を立てました。しかし父は昨年六月に他界。今年はその願いを叶えようと母と夫と大井川鉄道SLに乗り、お弁当を食べ、父の故郷・川根を訪れ、先祖のお墓参りをしました。父もきつと一緒に旅を楽しんでくれたと思います。夫の両親には、川根茶とお茶羊羹やまがなを供えました。こんな素敵な機会を与えてくれる会社に感謝します。



妻のお義母さんとの食事代、私の両親との食事代の一部として使わせていただきました。どちらの親も大変喜んでおりました。親と過ごす時間も限られておりますので、出来る限り親孝行していきたいと思えます。